

# 令和4年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

## 1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校等と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場 令和4年10月5日（水） 県立進修館高等学校

## 3 参加対象校

- ・ 東部教育事務所管内公立中学校及び義務教育学校 93校
- ・ 管内市町に所在する県公立高等学校 39校

## 4 主な内容

### (1) 授業参観・施設見学

### (2) 全体会

- ・ 情報提供1 県立学校部高校教育指導課から  
「第32回埼玉県産業教育フェアについて」
- ・ 情報提供2 総務部学事課から  
「私立高等学校等における学費軽減の補助等について」
- ・ 情報提供3 市町村支援部義務教育指導課から  
「中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導の現状と課題」  
「キャリア教育指導者養成研修の成果について」
- ・ 会場校の学校説明 県立進修館高等学校から

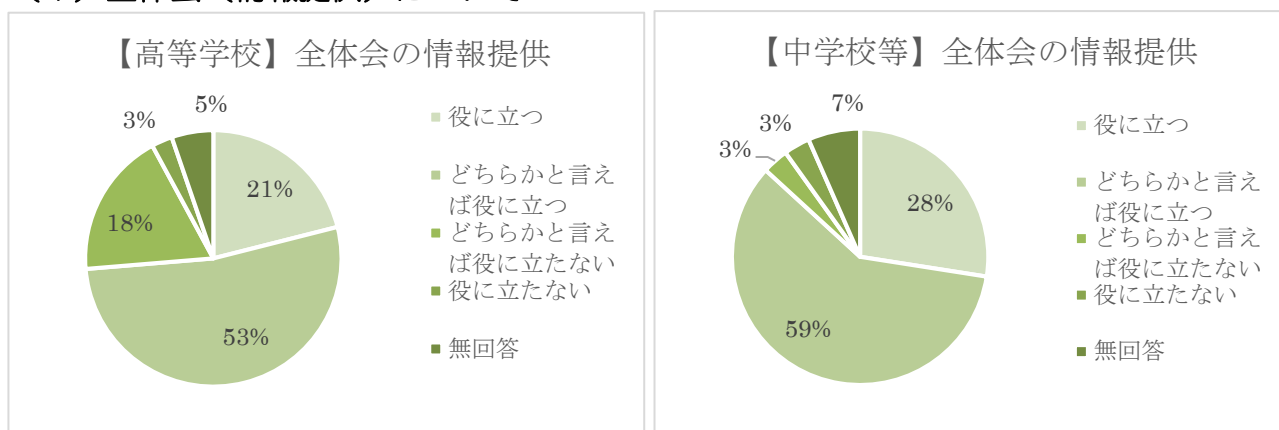
### (3) 分科会（グループ協議、指導助言）

「中学校・義務教育学校（後期課程）から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導・キャリア教育の現状と課題」

- 1 生徒にとっての魅力ある高等学校
- 2 キャリア・パスポートを活用した中高連携の取組

## 5 参加者の感想から

### (1) 全体会（情報提供）について



#### 【成果】高等学校

- スライドを使って分かりやすい説明であった。
- 職業観の育成をし、高校選択ができるようになると良い。
- 産業フェアの情報など、普段接することがあまりない情報を知ることができた。
- 変化の大きな社会において多様な事情を抱える生徒への進路指導を行うためには、中高で連携しつつ、系統的な指導を目指すことが必要だと感じた。

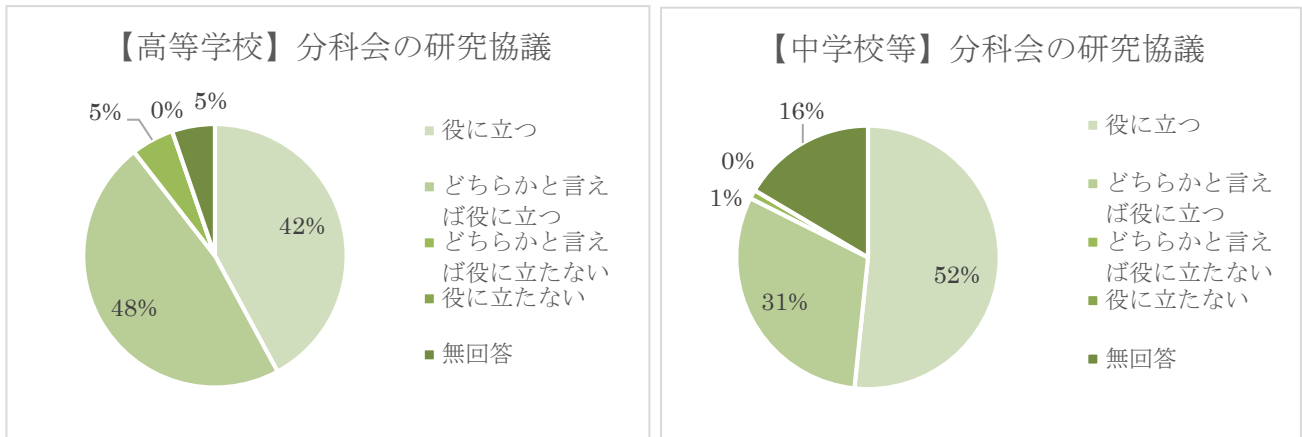
#### 【成果】中学校等

- キャリア教育について、小学校、中学校、高校の定着や充実、課題、取組等が参考になった。
- 現在の中学3年生はコロナ世代とも呼ばれ、気力の低下を日々感じている。子供たちが未来に希望を持てるか、将来に向けてキャリア教育が大切だと感じた。
- 国の研修会に参加された方の報告書を見て、自分の力を高めていきたいと思った。
- 学費補助について説明いただき、資料も分かりやすく、理解を深めることができた。
- 偏差値の取り扱いで迷うこともあったので、説明を聴くことができ有意義だった。
- 学校説明の中には「行田学」など大変興味深いものがあった。
- 自校においても専門学科志望者を含め、情報提供していきたいと思った。
- 自校の進路コーナーを活用して「専門学校ガイドブック」を生徒が見られるようにしたいと思った。
- 進修館高校の説明がとても魅力的で、学科系統を詳しく知ることができた。中学生が貴校への進学を希望する理由が分かった。

#### 【課題】

- 情報提供の声が小さく、聴き取りにくかった。
- 情報提供の説明内容が多く、十分に時間を確保して説明してほしかった。
- 義務教育指導課の資料が手元にあった方がよかった。
- 全体会については動画を配信し、各自が視聴してから当日参加するという形式であれば、その分、授業参観や分科会の時間が確保できると思った。
- 国の研修会に参加された方の情報についてもっと詳しく聴きたかった。

## (2) 分科会（グループ協議）について



### 【成果】高等学校

- 中学校の先生方の話を聴く機会が普段はあまりなかったので、有意義な時間を過ごすことができた。
- 中高でお互いの課題と要望と共有することができたので、今後の中学校への情報提供の改善につなげていきたいと思った。
- キャリア・パスポートについて他校の状況を知ることができて、本校の扱いについて考えるきっかけになった。
- コロナの影響による生徒の様子の変化を知ることができて良かった。
- 中学校の先生方が取り組まれているキャリア・パスポートが高校に渡っているのか、活用されているのか心配されていることがよく分かった。
- 中学校と高校のそれぞれの考えを聴けて意識の差を埋めることができた。生徒のためにどのようにすればよいか意見交換をすることができた。
- 県外の高校への進学希望が多くなっていることが分かった。

### 【成果】中学校等

- 実際に高校の先生と協議する貴重な時間だった。今後の進路指導に活かしていきたいと思った。
- 他の中学校の様子や高校でのキャリア教育について情報交換や協議ができ、とても有意義だった。
- キャリア・パスポートの扱い方について高校の先生とも協議ができ、現状について共通理解を図ることができた。今後の指導に役立てることで、生徒のよりよい成長を促せるよう努めていきたい。
- キャリア・パスポートの活用について現状と課題が聴けて良かった。高校への提出が中学校ごとに違うということが分かった。
- 他校のキャリア教育の実践や高校の先生との情報交換ができて良かった。

### 【課題】

- 分科会の協議グループが例年と同じなので、変えた方が良く思う。

### (3) その他

- 工業系の教員だが、他の工業系の科を見たことがなかったので、その様子を知ることができて大変参考になった。
- 教員も専門科目の授業に参加して、実際に体験してみたかった。
- 専門学科の高校を中途退学してしまう生徒が多いと聞いた。その理由を協議内で中学校の先生方に伝えられれば中学生にプラスになると感じた。
- いろいろな授業や施設があり、興味深く見学することができた。
- 総合的な探究の時間では生徒の考えや意見を大切にしており、普段から生徒への指導が真摯に行われていると感じた。
- 荷物を置く場所を分科会会場等に設けていただけると見学がしやすくなると思った。
- 学校概要を聴いた後に授業参観をしたかった。
- コロナ禍で難しいところはあるが、授業の様子を中学生に見せてあげたいと思った。
- 初めて高校の授業風景を見ることができた。そのため、興味深く授業参観や施設見学をすることができた。
- 生徒の作品が展示してあり、高い技能を見ることができた。更に、生徒からの声を聴くことができれば高校の魅力を中学生に伝えられると思った。
- 廊下ですれ違う生徒が視線をこちらに向けて挨拶をしていて感心した。